

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年7月14日
【四半期会計期間】	第67期第2四半期（自平成26年7月1日至平成26年9月30日）
【会社名】	ティアック株式会社
【英訳名】	TEAC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 英 裕治
【本店の所在の場所】	東京都多摩市落合一丁目47番地
【電話番号】	042-356-9178
【事務連絡者氏名】	財務部長 吉村 邦彦
【最寄りの連絡場所】	東京都多摩市落合一丁目47番地
【電話番号】	042-356-9178
【事務連絡者氏名】	財務部長 吉村 邦彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年11月7日に提出いたしました、第67期第2四半期（自平成26年7月1日至平成26年9月30日）の四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第66期 第2四半期 連結累計期間	第67期 第2四半期 連結累計期間	第66期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
<省略>			
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	119	955	366
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	629	209	1,490
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	604	1,109	2,455
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	3,553	3,406	3,175

(訂正後)

回次	第66期 第2四半期 連結累計期間	第67期 第2四半期 連結累計期間	第66期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
<省略>			
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	119	731	366
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	629	433	1,490
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	604	1,109	2,455
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	3,553	3,406	3,175

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

(訂正前)

<省略>

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、955百万円のプラス（前年同期119百万円のマイナス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、売上債権の減少額2,062百万円、マイナス要因としては、税金等調整前四半期純損失1,055百万円、たな卸資産の増加による減少244百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果得られた資金は、209百万円のプラス（前年同期629百万円のプラス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、事業譲渡による収入355百万円、投資有価証券の売却による収入80百万円、マイナス要因としては、有形固定資産の取得による支出141百万円、無形固定資産の取得による支出79百万円であります。

(訂正後)

<省略>

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、731百万円のプラス（前年同期119百万円のマイナス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、売上債権の減少額2,062百万円、マイナス要因としては、税金等調整前四半期純損失1,055百万円、たな卸資産の増加による減少244百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果得られた資金は、433百万円のプラス（前年同期629百万円のプラス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、事業譲渡による収入355百万円、投資有価証券の売却による収入304百万円、マイナス要因としては、有形固定資産の取得による支出141百万円、無形固定資産の取得による支出79百万円であります。

第4【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
＜中略＞		
その他の流動資産の増減額（は増加）	75	141
＜中略＞		
小計	1	966
＜中略＞		
営業活動によるキャッシュ・フロー	119	955
投資活動によるキャッシュ・フロー		
＜中略＞		
投資有価証券の売却による収入	60	80
＜中略＞		
投資活動によるキャッシュ・フロー	629	209

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
＜中略＞		
その他の流動資産の増減額（は増加）	75	82
＜中略＞		
小計	1	742
＜中略＞		
営業活動によるキャッシュ・フロー	119	731
投資活動によるキャッシュ・フロー		
＜中略＞		
投資有価証券の売却による収入	60	304
＜中略＞		
投資活動によるキャッシュ・フロー	629	433